

第3章

望ましい環境像と基本理念・基本目標

第1節 望ましい環境像

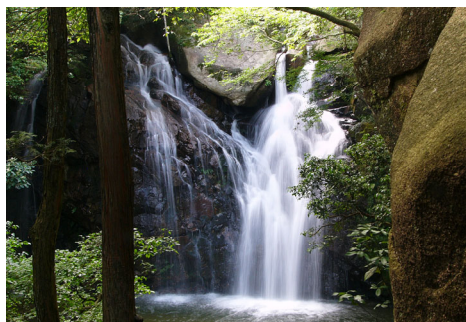
望ましい環境像とは、本計画の基本的な考えに基づく本市の環境のあり方を、簡潔に表したフレーズです。本市の特性や今後の環境保全・創造に対して求められる視点を基に、市民や事業者の意見、将来における脱炭素社会*の実現を目指す視点も採り入れ、次のとおり決めました。

みんなで未来へつなごう 豊かな自然と文化、うるおいある暮らしを

本市は森林、河川等、市内一円に広がる豊かな自然資源、生態系といったまとまりのある自然環境を有しています。また、巨岩がおりなす鬼岩や七滝が連なる竜吟峡、ヒツバタゴやハナノキが咲く山里といった、自然とともにある景観を形成しています。また、デスモチルス、パレオパラドキシア、クジラ、ゾウ、シカ、貝類、植物の化石が見つかり、人類誕生以前からの長い地球環境の歴史を感じることができます。地球の長い歴史の中には窯業、農業、中山道の宿場町のように、人類が築いた営みや文化もあります。また、人々の暮らしには現代的な都市機能が充実した暮らしが求められる一方で、本市は生態系を巧みに利用した、里山の暮らし文化も有しており、自然と共生する知恵を大切にしていける術を心得ています。

このような豊かな暮らしを現在だけでなく、将来にわたって確保していくためには、あらゆる主体が一丸となり、環境に配慮した行動をとる必要があります。また、環境への配慮と同時に、経済や歴史文化も併せて尊重し、価値を高めていくことも重要です。

望ましい環境像のフレーズには、本市が目指す環境の方向性を5つの思いとして込めています。1つ目は、本市の特性である自然環境の魅力をさらに向上させることです。2つ目は、環境保全のみを追求するのではなく、同時に利便性も追求した、環境保全と利便性の両立です。3つ目は、本計画の計画期間よりも将来を見据えた視点をもって望ましい環境を創造するとともに、これまで培ってきた歴史や文化を将来へ受け継ぐことです。4つ目は、本市の資源を最大限に活用したエネルギーの地産地消とゼロカーボンシティ*を実現することです。5つ目は、一人ひとりができることから環境保全の取り組みに参加し、他の主体との協力を通じて、本市の環境を誇りと思えるようになることです。これらの思いを実現すべく、目標を定め、施策を推進していきます。

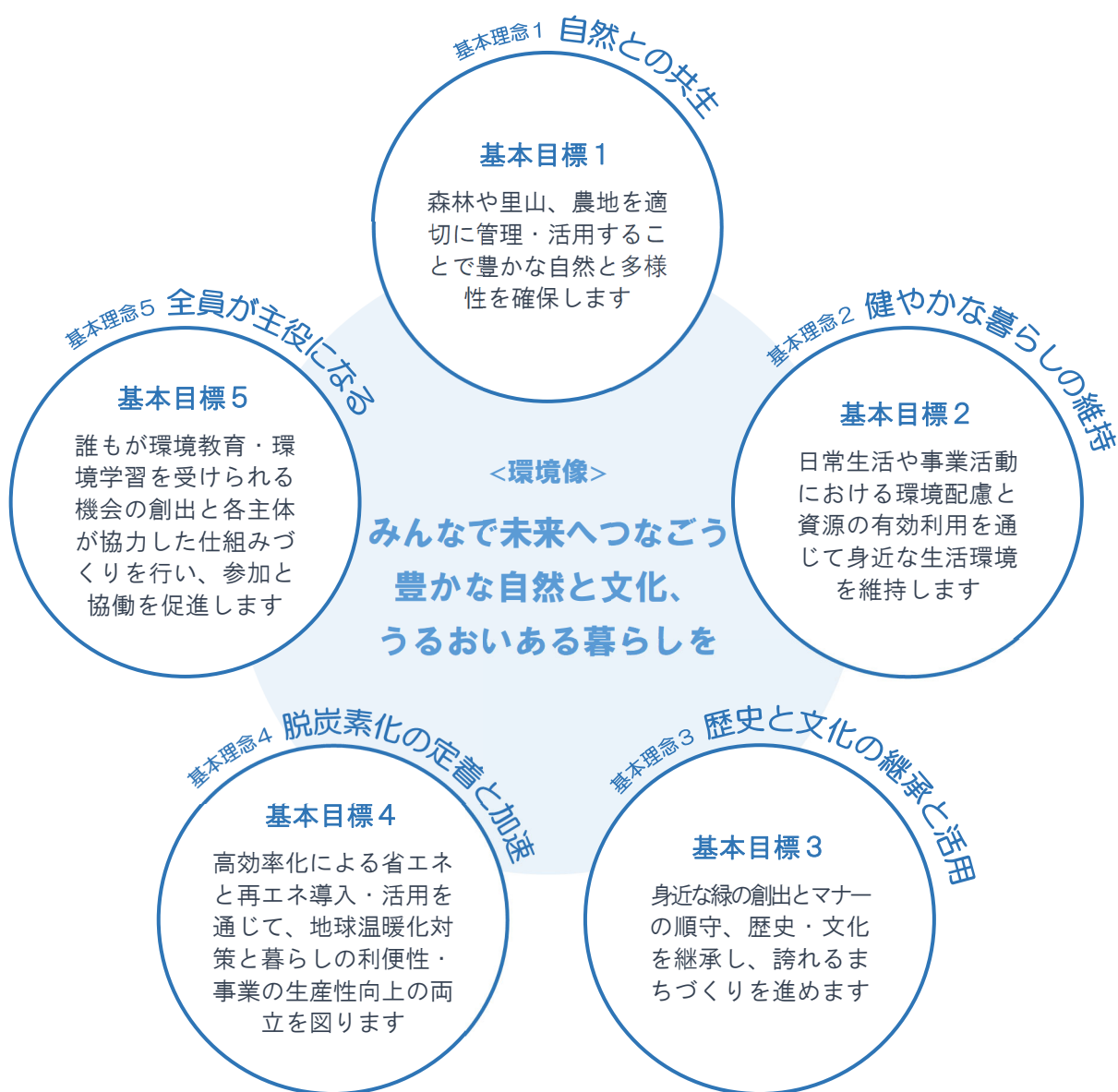


▲釜戸町 竜吟の滝



▲パレオパラドキシアの化石

第2節 基本理念・基本目標



▲市内の農地



▲大湫町 旧森川訓行家住宅主屋

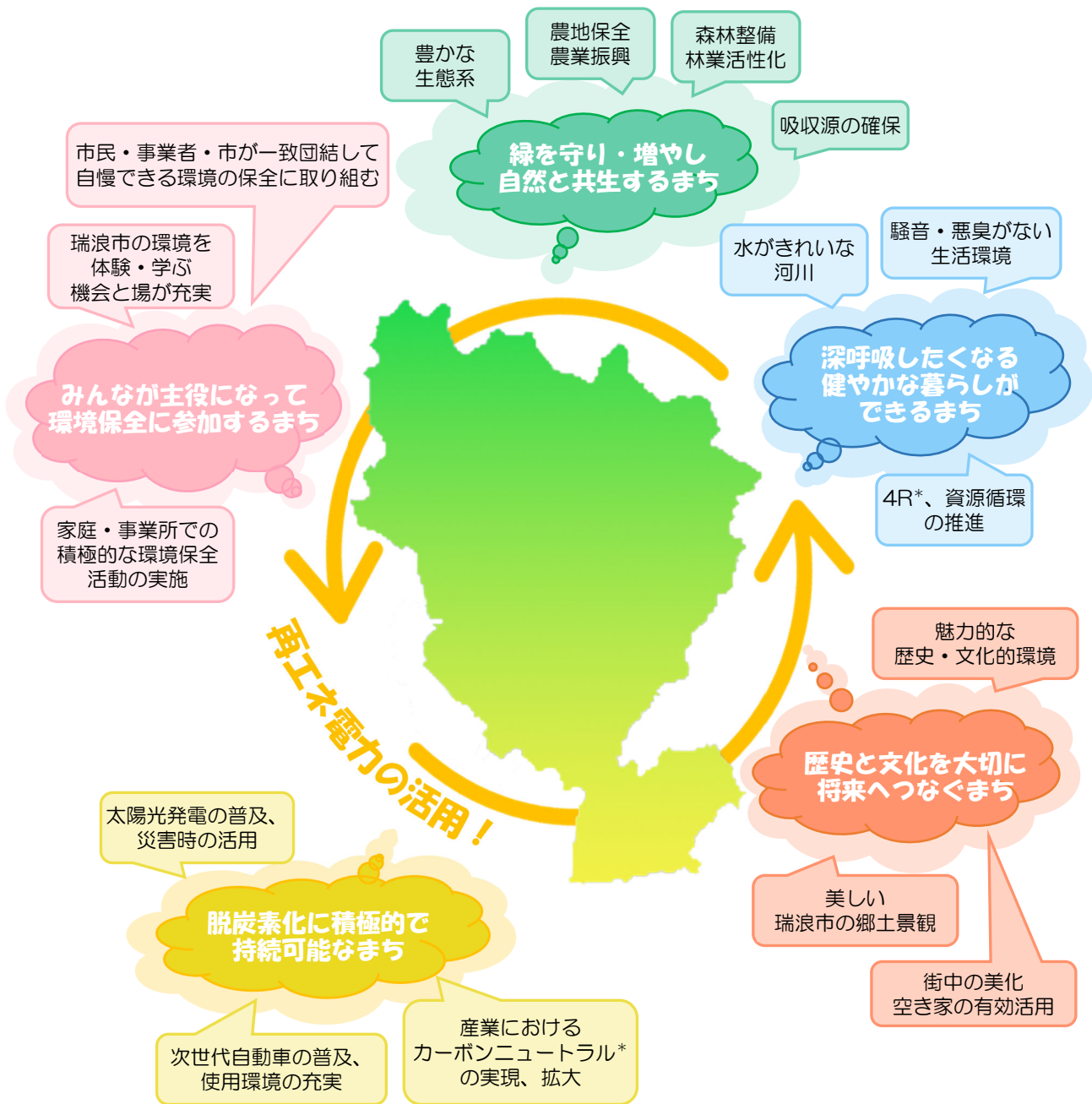


図 3-1 基本理念・基本目標のイメージ